



## ～戮力協心～ NO.29

2023年2月17日  
発行責任者 池尻 和寛  
編集責任者 情 宣 部

JR北海道労組  
JR東労組  
JR貨物労組

### JR総連青年協 単組間交流開催!!!

JRシステム労組  
JR東海労  
JR西労

## 23春闘にむけ、各単組の連携強化を確認

2月15日(水)、JR総連青年協議会の単組間交流がJR東労組東京地本にて開催され、JR貨物労組青年部は、本部青三役と各地青の代表者合わせて11名が出席しました。そして、現在我々が置かれている諸情勢と共通課題を確認し、統一要求・統一闘争で2023JR総連春闘を勝利すべく、「己を確立」した上で組織強化をはかり、昨年以上に単組間の連帯を強化することで認識を一致させました。

冒頭、宮下議長(東労組)、鉄道ファミリーの村田社長の挨拶に続き、JR総連の熊谷書記長より講演をいただいた後、青年協において幹事をしている本部青の池尻青年部長より、22春闘ではJR総連青年協としての共闘ができてなかったことにふれ、青年労働者を取り巻く情勢が厳しくなる中でベアを勝ち取るためには『“運動づくり”と共に“組織づくり”も重要になる。各単組が抱える課題を明確にした上で組織力を高め、連帯を強化するべき』と問題提起が行なわれました。



大久保副部長(東北地青)



永井事務長(本部青)

これをふまえ、全体討論では、各単組のこれまでの取り組みとそこで生じた課題、悩みなど共有しました。貨物労組東北地青の大久保副青年部長は、「そもそも組合離れがある中での取り組み(特に政治・平和)は困難をきわめている。青年部員とどのような話で切り込めばよいか難しい。」と発言した上で、青年部全体の質的強化が重要だと発言しました。

また、本部青永井事務長は、3月9日に青年部版全国統一職場集会日を設定したことを報告し、貨物労組では全国ネットワークを生かし、他単組事務所が近い地域では、直接そこに赴き、檄行動ができないかと提案しました。

まとめにおいて、菊地幹事(北海道労組)は「要求を勝ち取りに行く中で、いかに組織強化をするか、個々人が何をすることが大切になる。個別具体的なビジョンに基づいて行動をしよう」と呼びかけ、最後に宮下議長(東労組)の団結ガンバローで意思統一をはかりました。

閉会後には懇親会が行なわれ、議論で話きれなかった意見を交換して行く中で、更なる親睦を深めました。

会場では鉄道ファミリーの物販部門「すみっこ商店」が取り扱う商品の即売会も行なわれました。ネットでも通信販売も行っておりますので、ぜひお買い求めください!!!



JR総連青年協は若い力を結集し、単組の垣根を越えて一致団結!  
同じ鉄道の仲間として、2023JR総連春闘を共に闘い抜こう!!  
JR貨物労組青年部